

シンガポール・台湾・中国におけるリフォーム事情

<https://reform-nisso.co.jp/> ニッソウ 海外リフォームレポート

◆ **シンガポール**は、全部の格付機関から AAA 格付けを持つ、アジアで唯一の国家で、かつ他民族で、主は中華系 75%、マレー系、インド系で構成される。

他の東南アジア諸国とは異なり近代的でカッコいい街並み、治安もよく衛生的で住みやすい国である。

1 人当たり GDP が 2 番目に高くアジアで最高。医療や教育・生活等の質・住宅などの指標が高く置かれている。不思議なのは、これだけの先進国なのに関わらずシャワートイレが普及していないこと。

内装へのこだわりが強く、クオリティの高いモダンな内装デザインが多い。平均気温は 27 度と暑いので、どこに行っても効きすぎの冷房が特徴であるので、冷房が苦手な方にはつらいかもしれない。

また、不動産価格が異様なほど高騰していることから賃貸住宅に住むことが多いのではあるが、HDB という住宅精度を政府が提供しており、住宅購入の際は多額の補助金を受けることができる。

さらにこの HDB という制度では、古い物件であれば改装費用の 9 割も政府が

補助してくれる場合がありリフォーム需要は他国と比べて一段と高い。

そしてシンガポール人は引越す回数が多く改装の騒音が絶えないとのこと。

これらのことから、リフォーム会社の需要は後を絶たない。

なお、シンガポールのリフォーム会社は大きく分けて2種類、デザインと建築の両方を行う会社と、施工のみの会社がある。

デザインと建築を行う会社は、好みに合わせ3Dでイメージ化してくれたり、サポートが手厚いが価格が高いようである。

- ◆ **台湾**は、不動産価格が所得に比べもっとも高い国であり、一戸建て住宅を持つことは非常に難しく、一般家庭では賃貸住宅に住むのが普通である。
また、アパートやマンションの賃利用も高く、一か所に長く住むのが基本。
GDPは鈍化していることから国力の低下していくことが予想されるが、リフォーム市場の需要は高まっていることが考えられる。

- ◆ **中国**は、いわずと知れた経済大国になった。

財力を蓄えた多くの中国人は住宅整備に目が無く、日本と同様「リフォームの匠」のような番組が作られているほどだ。

また、中国では分譲マンションなどは、スケルトン状態で引き渡されるため 電

気、配管、造作などは購入者が施工業者に委託して作る。家具も作り付けが一般的でデザイン性が高いものが富裕層で好まれている。

そんな中国では、百安居という名前で知られるイギリスのB & Q社というホームセンターが有名である。特に上海での成功は目覚ましく中国で60拠点あるうちの12拠点が上海にある。